
































# 人工股関節全置換術の手術を受ける患者様へ(入院時にこの用紙をご持参下さい)

日付経過	手術の時までに準備していただくもの	/	/	/	/
治療		入院から手術前々日	手術前日	手術当日(手術前)	手術当日(手術後)
処置	①浴衣または前開きの寝巻	 必要時、心臓血管外科に診察してもらうことがあります		 術衣に着替え、点滴をします	 手術後から翌朝まで点滴を行います
検査	②フェイスタオル1枚	 お薬手帳と内服薬をご持参下さい	 採血検査を行います	 必要時手術部位の毛を剃ります	 術後から患部のクーリングをします
	③バスタオル	 身長体重測定を行います			 ※自己血または輸血をします。 輸血量や期間は患者により異なります。
活動	④ストロー付きコップ	 病院内は自由に歩けます(外出には医師の許可が必要です)		 病棟内でお過ごしください	 看護師の介助で身体の向きを変えたり起こしたりできます。
	⑤箱ティッシュ	 理学療法士	 手術前のリハビリを行います		 手術当日はリハビリはお休みです。
食事	⑥T字帯1枚または前開きオムツ1つ	 病院の食事を食べて下さい		 水分は指示された時間まで飲むことができます	 飲水・食事は許可があるまでお待ちください
清潔		 シャワー浴ができます		 手術前までは可能です	 創部の管が抜けるまでは蒸しタオルで体を拭きます
排泄	⑦手術用ストッキング	 病室のトイレをお使い下さい		 尿管が入ってきます 差し込み便器で排便となります	 車椅子乗車可能なら トイレで排泄できます
説明・指導		 看護師から入院生活について説明します	 麻酔科医・手術室看護師から説明があります		 手術後、医師から家族に説明があります
その他	注)①②③はレンタル病衣で対応できます ⑦はこちらでお渡します	 リハビリ転院などの希望の方は主治医・看護師へご相談下さい	 手術同意書を提出してください	下肢静脈血栓予防のため退院まで弾性ストッキングを着用していただきます 術後～翌朝までフットポンプを足につけます。 術後1日目～術後3日目まで夜間のみつけます。	

注) 病名・診療内容および入院期間については現時点で考えられるものであり、状況に応じて予定が変更になることがあります。ご不明な点がございましたらお尋ねください。

改訂日: 2015年7月13日




















改訂日: 2017年8月25日

改訂日: 2018年6月25日

作成日: 2013年7月13日  
改訂日: 2020年10月15日

横浜南共済病院

# 人工股関節全置換術の手術を受ける患者様へ(入院時にこの用紙をご持参下さい)

日付 経過	/	/	/	/	/
	術後2日目	術後3日目	術後4～7日目	～術後14日目	術後15日目～
治療	 <p>定時の鎮痛剤を飲み始めます(1週間) 疼痛に合わせて鎮痛剤を継続・追加することもあります 痛みに応じて点滴や坐薬の鎮痛剤を使用します</p>				 退院または転院が可能となります
処置	<p>リハビリ後や患部に熱を持っている時はクーリングをします</p> <p>傷のチェックをします(必要に応じてガーゼ交換やフィルム材のテープに貼り替えます) 創部が問題なければテープは除去します</p> <p>                       傷のチェックをします(必要に応じてガーゼ交換やフィルム材のテープに貼り替えます)                       排泄の量により創部の管が抜けます(術後2日目)                                          排泄量に関わらず創部の管が抜けます                 </p>				
検査			  採血・エックス線を週1回行います	  採血・エックス線を週1回行います	
活動	 状態により訓練室でリハビリを行います。リハビリは患者様の回復に合わせて拡大していきます		<p>痛みの状況に合わせて安静度を上げていきます</p>  <p>階段昇降など退院後の生活に合わせた練習をします</p>		
食事	 病院の食事を食べて下さい				退院日の食事は 朝までです
清潔	 創部の管が抜けるまでは蒸しタオルで体を拭きます	 血液の管が抜けて熱がなければ、翌日からシャワー浴が可能です			
排泄	 歩行・車椅子乗車可能ならトイレで排泄できます				
説明・指導	 <p>下肢静脈血栓予防のため抗凝固薬を内服します(約10日間です) (患者により薬剤の種類や期間は異なります。) 必要時、心臓血管外科に診察してもらいます</p>			<p>&lt;入院費を確認したい方へ&gt; 退院が決まったら 看護師へお伝えください 概算を事務員へ確認します 平日の9時～17時まで</p>	 退院後の生活について説明します
その他	下肢静脈血栓予防のため退院まで弾性ストッキングを着用していただきます 術後1日目～術後3日目まで夜間のみつけます。 (状況によりフットポンプを早めに外すこともあります)			 お会計はスタッフが お部屋まで説明に行きます	

注) 病名・診療内容および入院期間については現時点で考えられるものであり、状況に応じて予定が変更になることがあります。ご不明な点がございましたらお尋ねください。

改訂日: 2015年7月13日

改訂日: 2017年8月25日

改訂日: 2018年6月25日

作成日: 2013年7月13日  
改訂日: 2020年10月15日

横浜南共済病院